



santec

証券コード 6777

2008年3月期 通期決算の概要

2008年5月9日

2007年 通期決算 ハイライト

当初予想を上回る収益性を実現

- 売上高 3,833百万円 前年度比 24.7%増
- 4期連続で 前年度比 20%超の成長
- 原価低減奏功・製品構成の変化で高収益
 - 粗利率 43.1% (前年度36.8%) 営業利益率 11.7%

2001年度以来6期ぶりの復配

- 当初配当予想 5円 → 8円へ
- 連結配当性向 34.1%

2008年度も引き続き増収増益を予想

- 予想売上高 4,750百万円 (07年度比23.9%増)
- 予想当期純利益 550百万円 (07年度比96.4%増)

2007年 実績(連結)

売上高24.7%増加 利益予想を上回る

(単位 百万円)

	06年 実績	07年 当初予想	07年 実績	前年度比		予想値 差異	
売上高	3,073	3,834	3,833	+760	+24.7 %	▲1	▲0.0 %
営業利益	37	275	450	+412	+1,090 %	+175	+63.7 %
経常利益	▲11	235	353	+364	+3,250 %	+118	+50.4 %
純利益	20	225	280	+260	+1,293 %	+55	+24.5 %

概況

日本・光部品 伸びる

北米市場向けも多い

中長距離&
海底ケーブル

原価低減奏功



営業利益押し上げ

為替差損 74百万円

たな卸資産廃棄損 17百万円
たな卸資産評価損 38百万円

2007年 総資産および純資産の状況(連結)

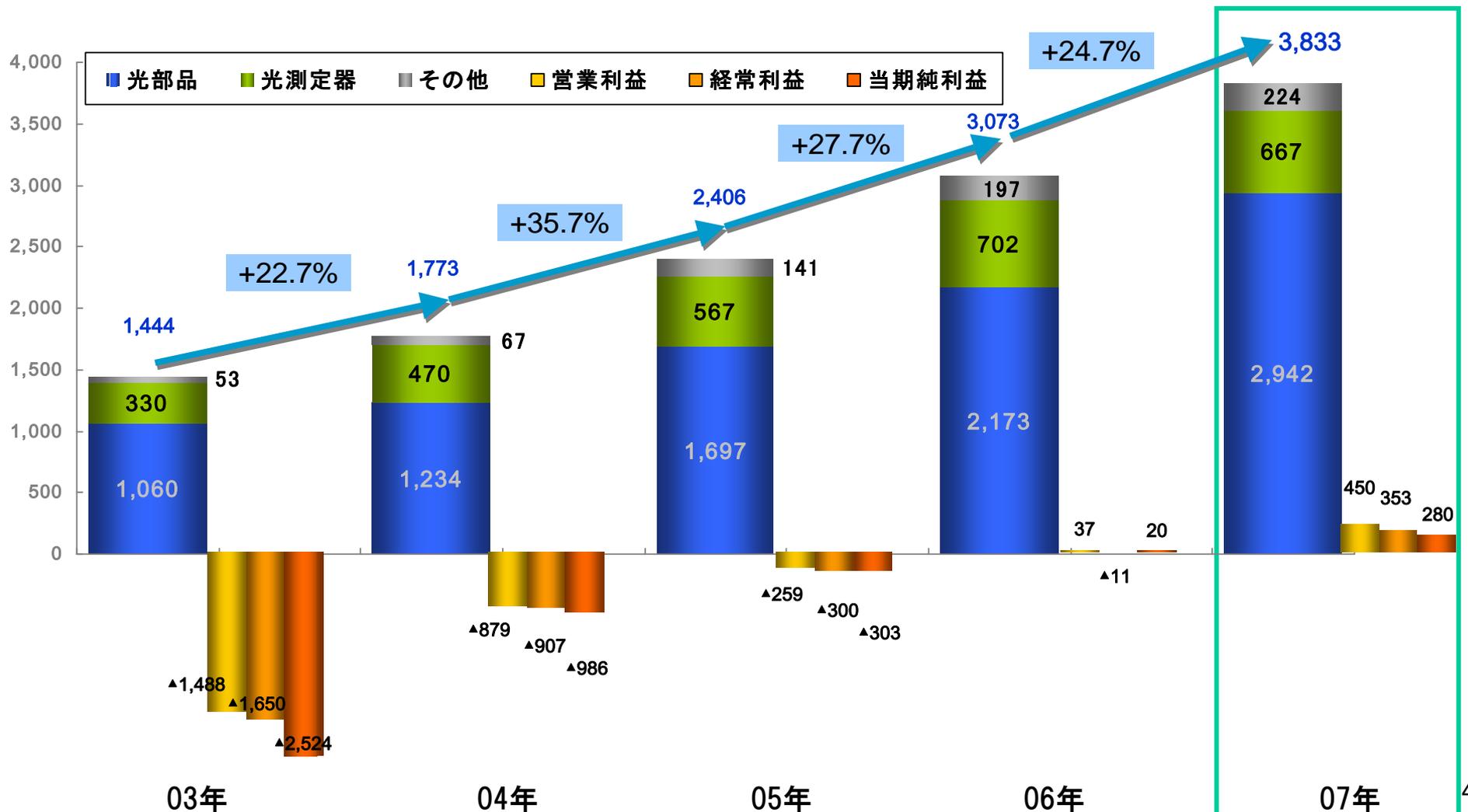
(単位 百万円)

	06年 実績	07年 実績	前年度比	
総 資 産	7,660	7,951	+291	+3.8%
純 資 産	6,892	7,036	+143	+2.1%
株主資本比率(%)	90.0%	88.5%	-	▲1.5 (%)
一株当たり純資産(円)	577.31円	589.32円	12.01	+2.1%
期末配当(予定/円)	-	8円	+8	-

業績の推移(連結)

売上高 年20%以上の成長を継続

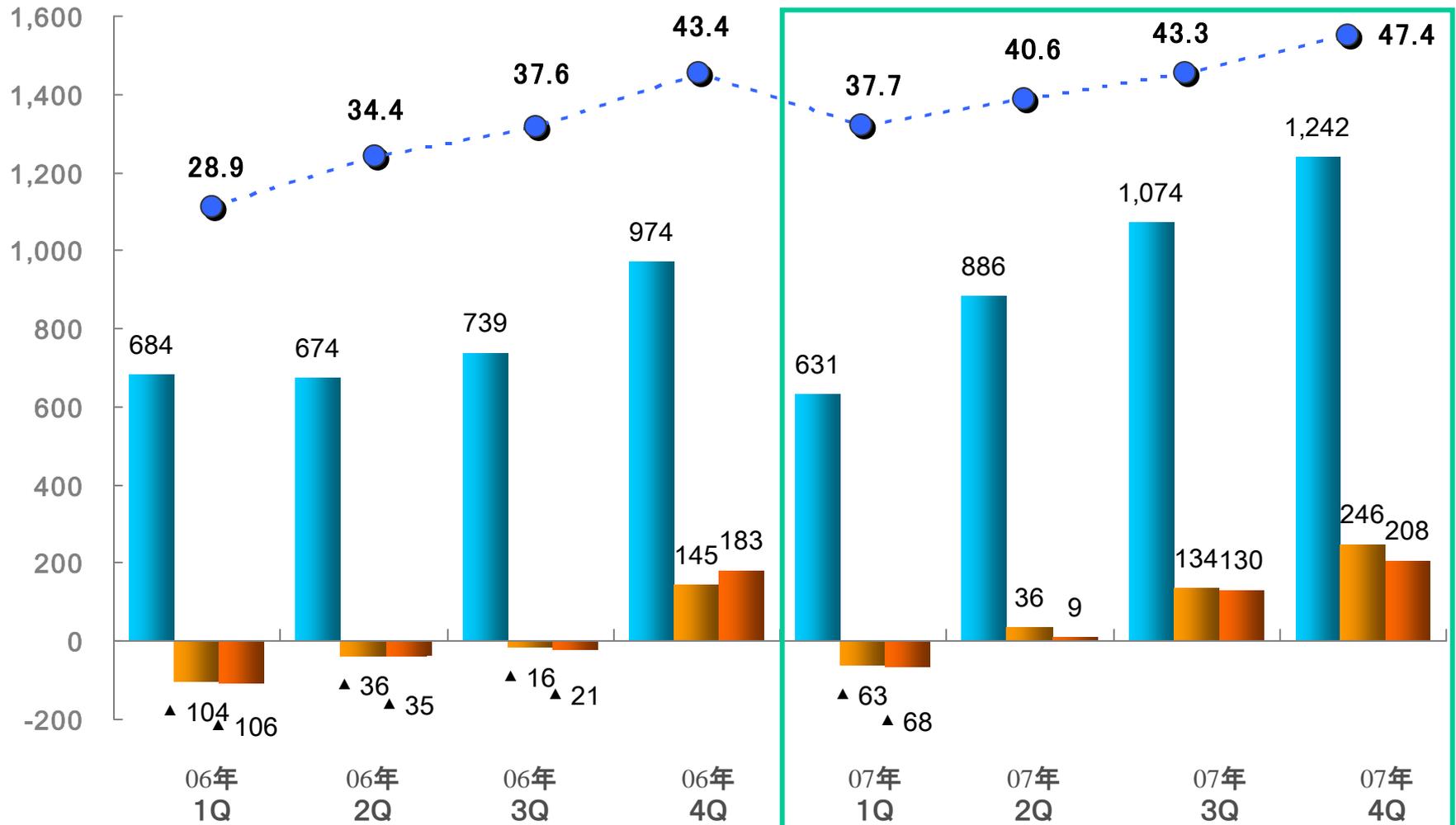
(単位:百万円)



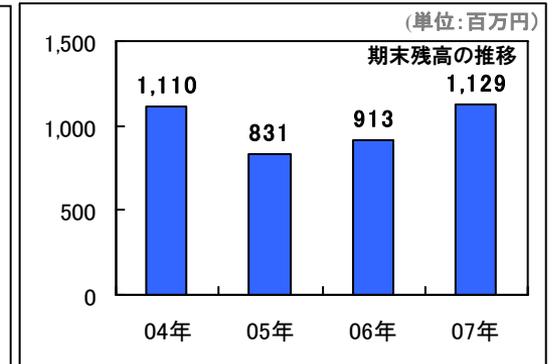
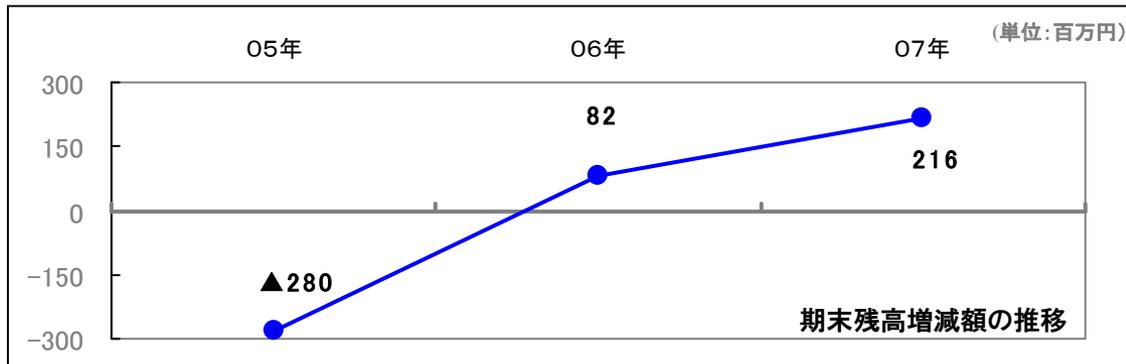
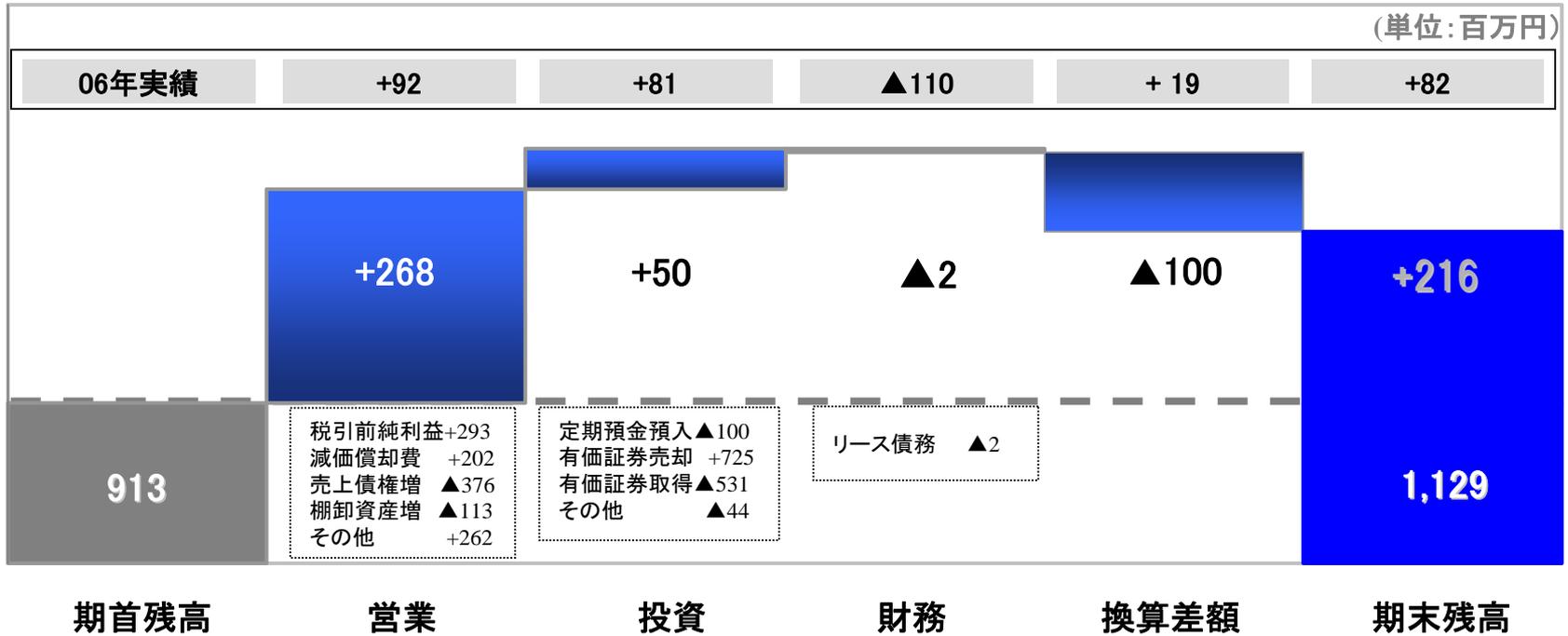
業績の推移(四半期・連結)

売上回復基調 業績改善進む

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー(連結)



事業別実績(連結)

光部品が業績を牽引

(単位 百万円)

	06年 実績	構成比	07年 実績	構成比	前年度比	
光部品	2,173	70.7%	2,942	76.7%	+769	+35.4%
光測定器	702	22.9%	667	17.4%	▲35	▲5.1%
その他	197	6.4%	224	5.9%	+27	+13.5%
うち ソフトウェア	194	6.3%	223	5.8%	+29	+14.6%
合計	3,073	—	3,833	—	+760	+24.7%

概況

光部品 好調

中長距離向け
海底ケーブル向け

日本・北米向け

光測定器 微減

研究開発投資低調

OEM光源始動前夜

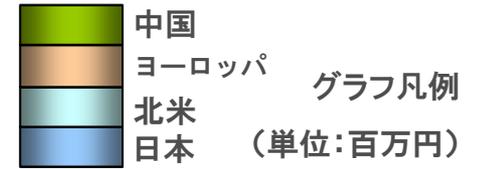
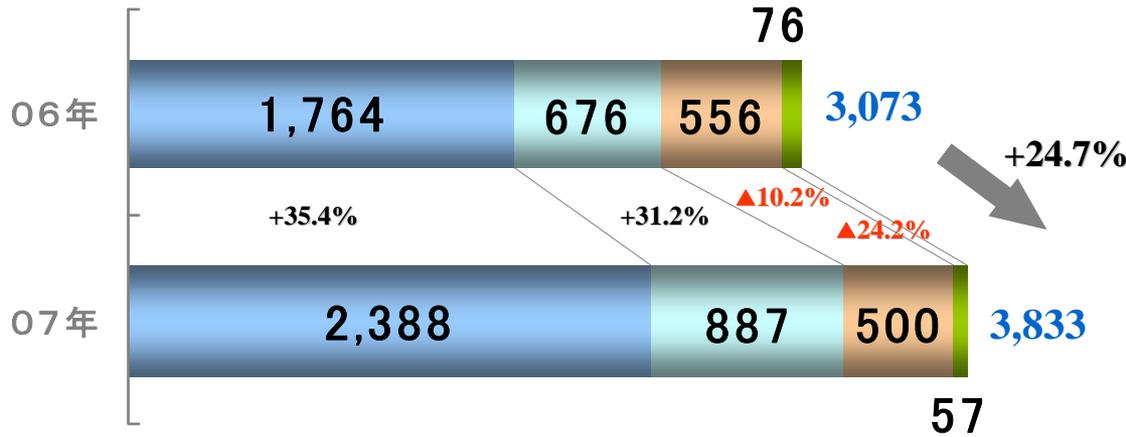
ソフトウェア 淡々

新商材でテコ入れへ

拠点別売上高(拠点/製品構成・連結)

日本の光部品が伸びる

拠点別(全事業計)



概況

光部品

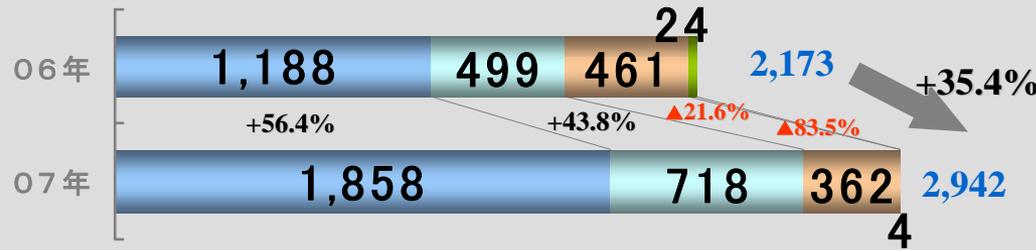
日本・北米が好調

ヨーロッパ:
見込んでいた受注
取り込めず

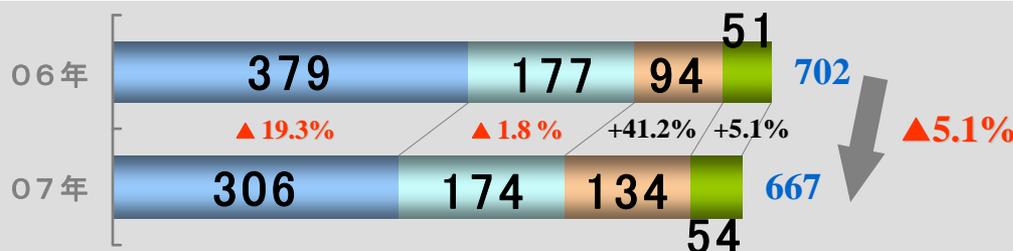
光測定器

ヨーロッパで伸びる

光部品

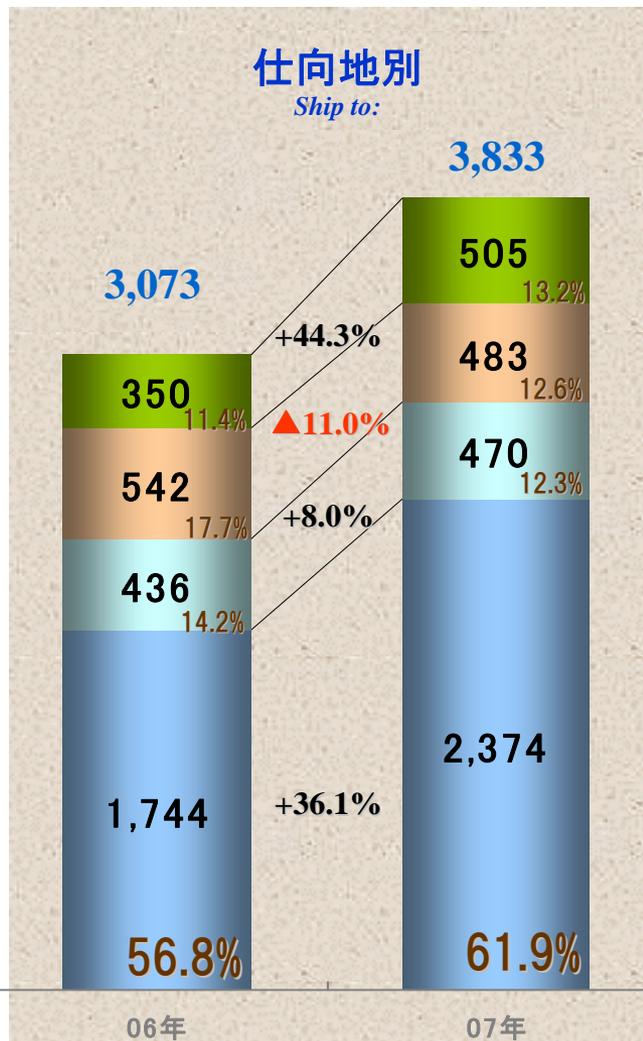
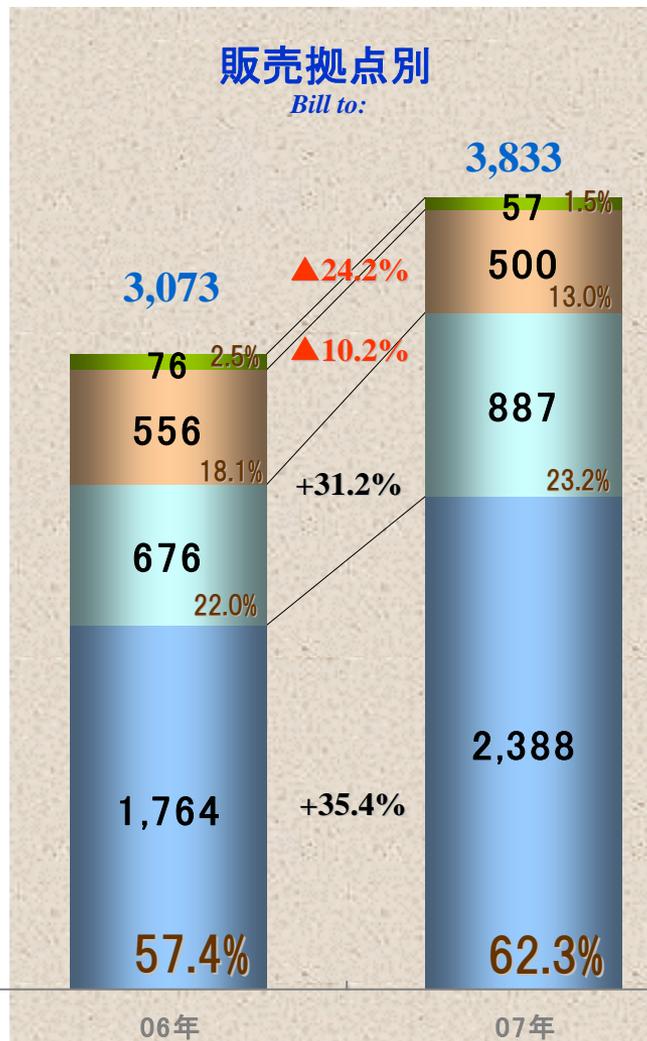


光測定器



地域別売上高(連結)

市場 日本と中国が伸びる



概況

日本快調

国内需要と輸出需要

北米堅調

通信事業者 投資旺盛

ヨーロッパ減少

フィルタ受注 取り込めず

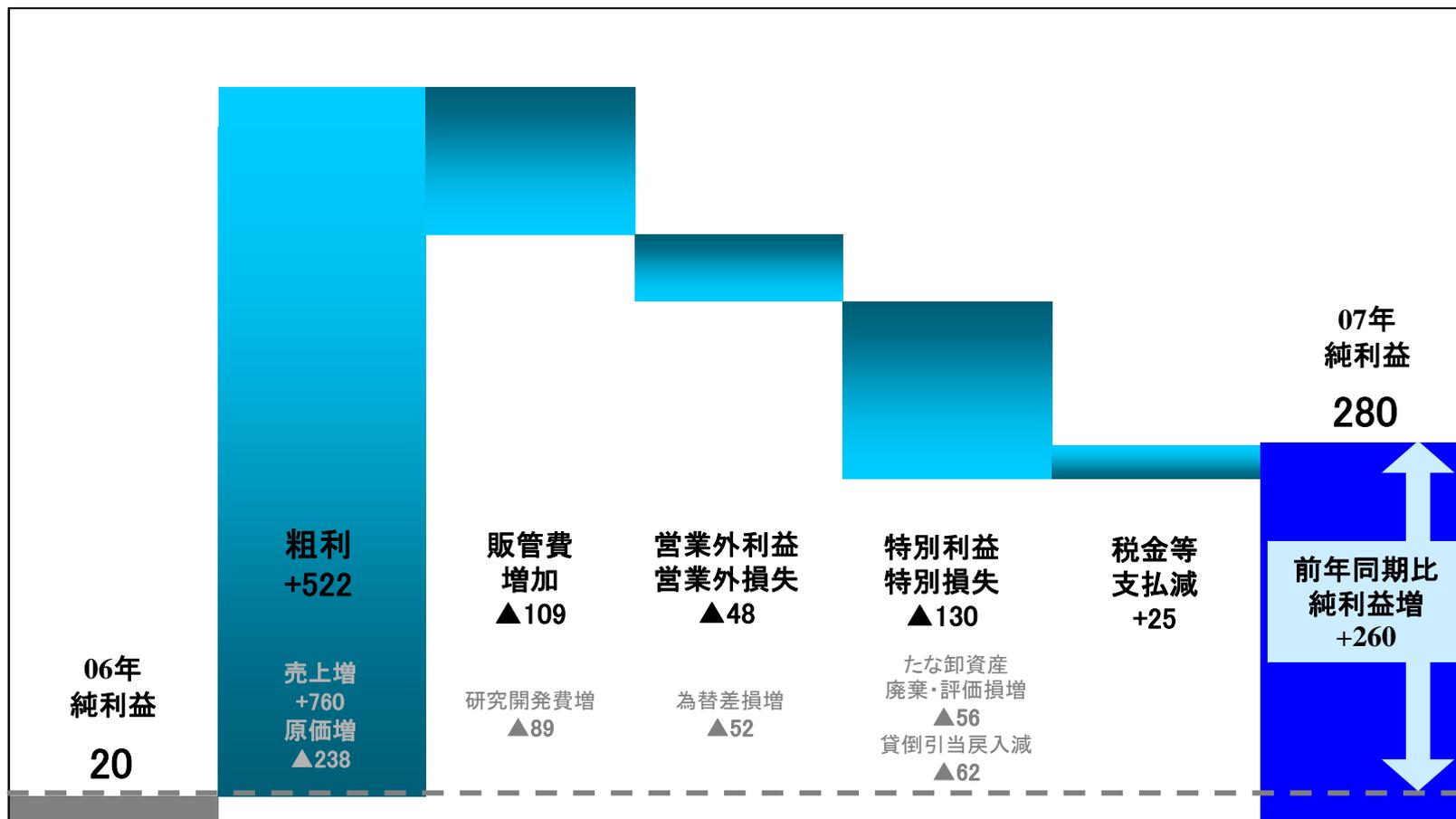
中国増加

光産業 生産拠点を中国へ

当期純利益増加の要因分析(連結)

売上増加と販管費抑制が奏功

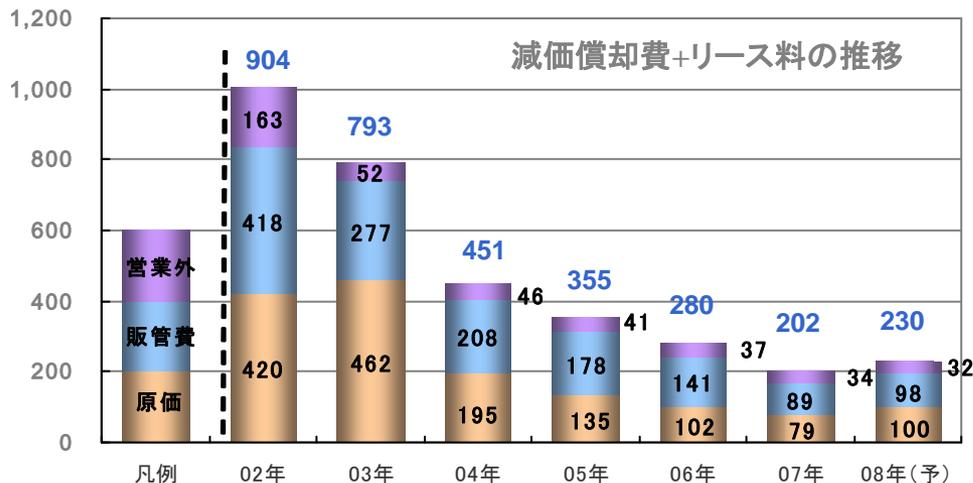
(単位:百万円)



減価償却・リースと投資の推移(単体・通期)

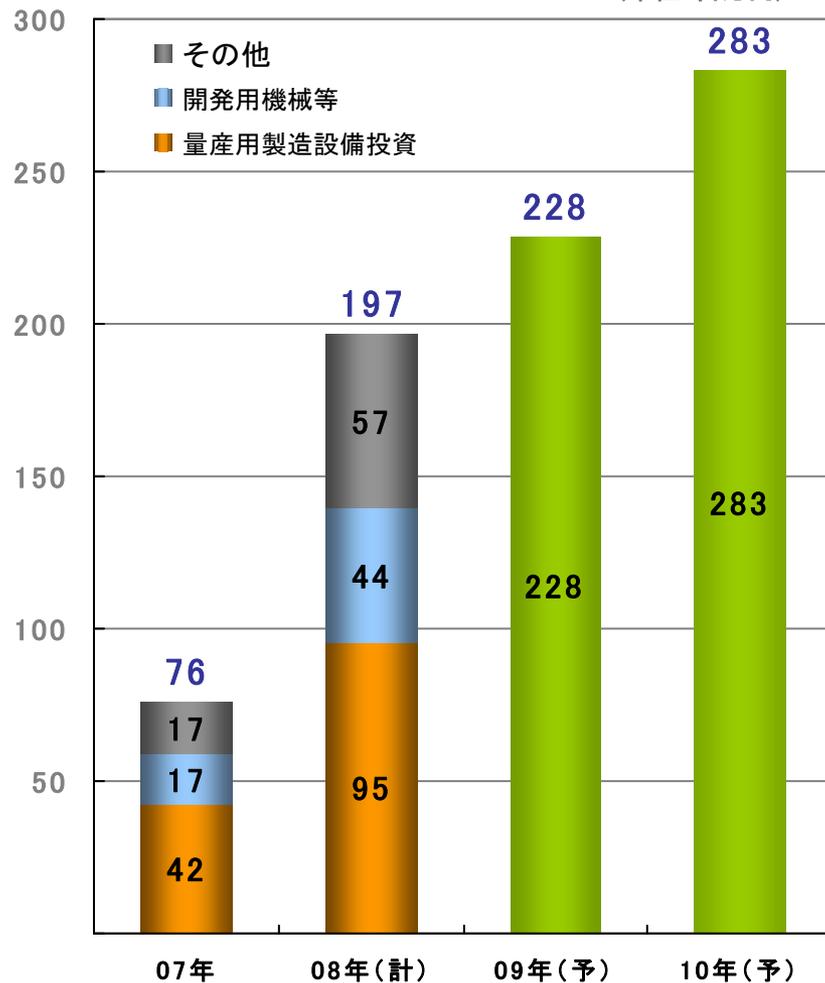
次なる成長のための投資を実施

(単位:百万円)



今後3年間の設備投資計画

(単位:百万円)



07年度 主な設備投資の概要

量産用製造設備等	42百万円
開発用機械装置等	17百万円

08年度 主な設備投資の計画

量産用製造設備等	95百万円
開発用機械装置等	44百万円
その他(基幹情報システム等)	57百万円

2008年通期予想(連結)

07年度比 23.9%の成長を見込む

(単位 百万円)

	07年 通期実績	08年 中間予想	08年 通期予想	07年度比(通期)	
売上高	3,833	2,090	4,750	+917	+23.9%
営業利益	450	150	590	+140	+31.1%
経常利益	353	140	565	+212	+60.1%
純利益	280	130	550	+270	+96.4%

当社を取り巻く環境



世界の通信市場

光ファイバー網 社会のバックボーンへ

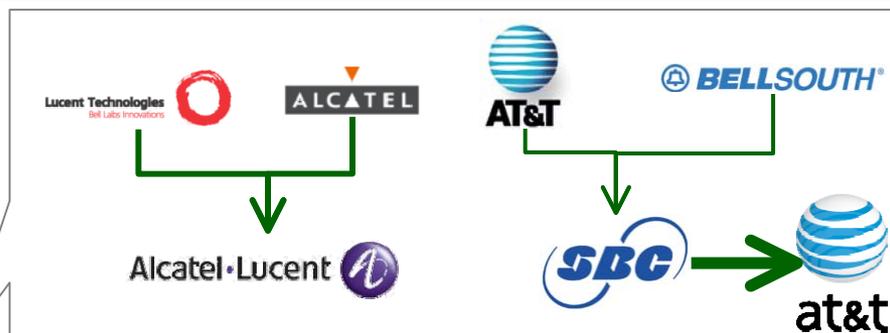
◆日本

- ◆FTTH加入数1,000万件を突破
- ◆ブロードバンド世帯普及率50%を超過
- ◆NGN着実に進む 通信事業者・通信機器ベンダーが共に注力

※FTTH = Fiber to the Home。光ファイバを家庭まで引き込むこと。
※NGN = Next Generation Network。次世代網。安定・安全・安心な機能をIP網に付加する規格。

◆ワールドワイド

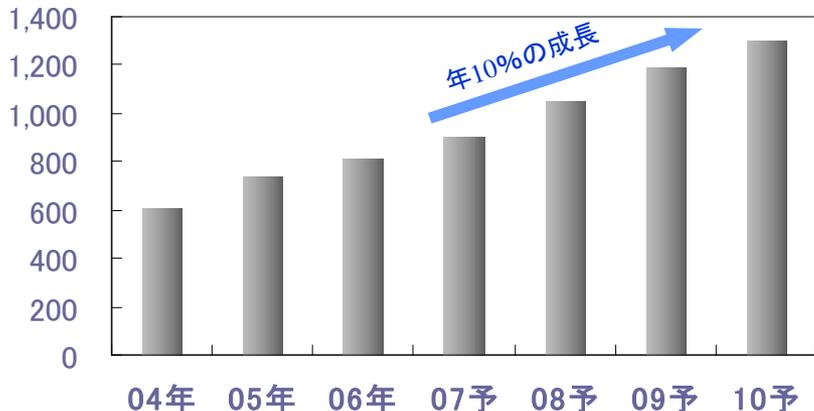
- ◆大手通信事業者 好業績
 - ◆BT AT&T など
- ◆北米 通信設備投資促進へ
 - ◆企業統合一段落 腰を据えて活動を開始
 - ◆トラフィック増加 YouTubeなどの映像配信定着
 - ◆自前ケーブルの動き
- ◆海底ケーブル 既存ケーブル増強を軸に淡々と進む



止まるところを知らない通信量増大

単位: 億円

光受動(パッシブ)デバイス市場の推移



(出所: 富士キメラ総研「2007光産業予測便覧Vol.1」より当社作成)



1997年

3月

2003年

3月

2007年

11月

※総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計・試算」より当社作成。
 ※平均通信量は2003年3月からの集計です。

資料中のロゴ・サービス名称は各社の登録商標です。インターネットにおいて盛んに使用されている一例として示すにとどまるものです。

フランスでFTTH義務付けへ

フランス 4月24日報道

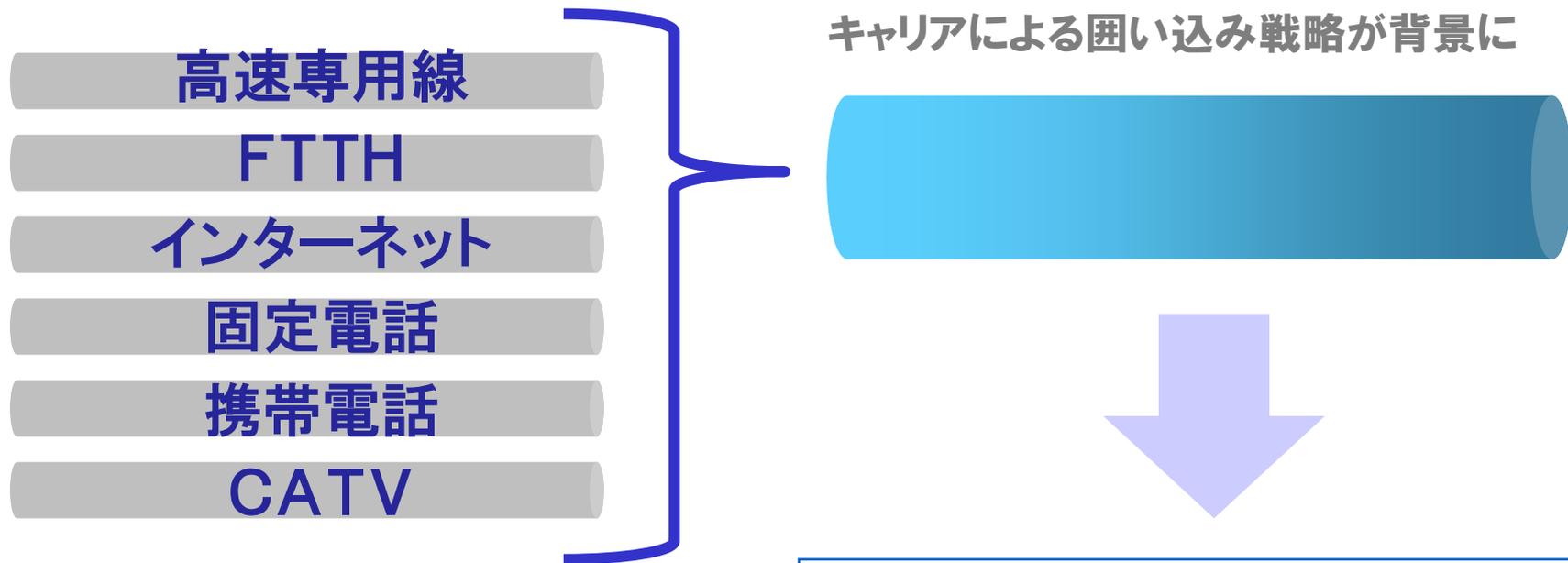
新築アパートへの光ファイバ入線を義務付けへ

- 高速ブロードバンド普及政策の一環
- 25室以上の新築建物が対象
- 「2008年夏」までに議会上程・採決
- France Télécom
 - 今後10年で € 100億を投資
 - 「2010年までに25室以上の全アパートにプレ配線したい」

光通信システムのマーケット・トレンド

光は情報の基幹バックボーンを担う

個別のソリューションからバックボーンへ視点が移動



高速化に加えて、
柔軟性・冗長性・ファンクションが必要

光ネットワークの市況と新製品

Long Haul

長距離通信

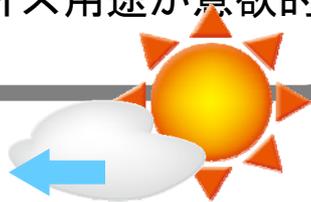
- トラフィック増対応のための増設投資が堅調
- 次世代網(NGN)への注力が見られる
- 海底ケーブル敷設投資、次々発表



Metro

中距離・都市間通信

- FTTHに押し上げられ需要発生
- 携帯電話向けのバックボーン投資が強い
- 40Gなど高速・柔軟・エンタープライズ用途が意欲的



Access

局舎=加入者間通信

- 日本FTTHリード、北米追従、欧州・アジアこれから
- インターネットが一般的なインフラとして定着
- 放送の取り込みが推進役



偏波スクランブラー (PS-3300S)



超長距離通信において使用されるモジュールです。
光ファイバを伝わる信号の揺らぎを抑制し、伝送品質を向上させるものです。

コンパクトCWDM (C-CWDM)



光の多重化通信機能を提供します。従来製品の1/10の大きさにまでコンパクトにしました。

Variable Multiplexer (Vmux) Variable Combiner (Vcom)



光の多重化通信を実現するMux/Demuxに、モニタリング、パワー調整、チャンネルセレクト機能を合体させた多機能モジュールです。

トリプルプレイ レシーバ (TPR)

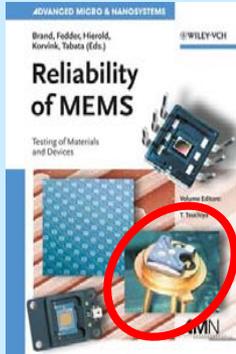


トリプルプレイサービス(音声・映像・データを1本のファイバで送るサービス)に使用されます。映像データを電気信号に変換する機能を付加して一体化。
機器の小型化を可能にします。

今期の主な研究成果

MEMS

当社研究者の成果 書籍掲載



MEMSの技術研究に関する書籍“*Reliability of MEMS*”に当社研究者が執筆しております。表紙にも当社製品写真が使用されています。

OCT

日本歯科医師会雑誌に研究成果発表

国立長寿医療センターとの共同研究の成果を論文発表し、多くの反響をいただきました。

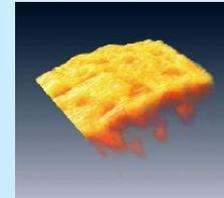


日本歯科医師会雑誌
2008年3月号
(発行部数 8万部)



OCT（光干渉断層画像計）商品化へ

長らく研究を重ねてきたOCT（光干渉断層画像計）について応用分野の開拓を行いました。



みかんの皮の断層画像を3D表示



樹脂ねじ断層画像を使い強度分析などを行えます。

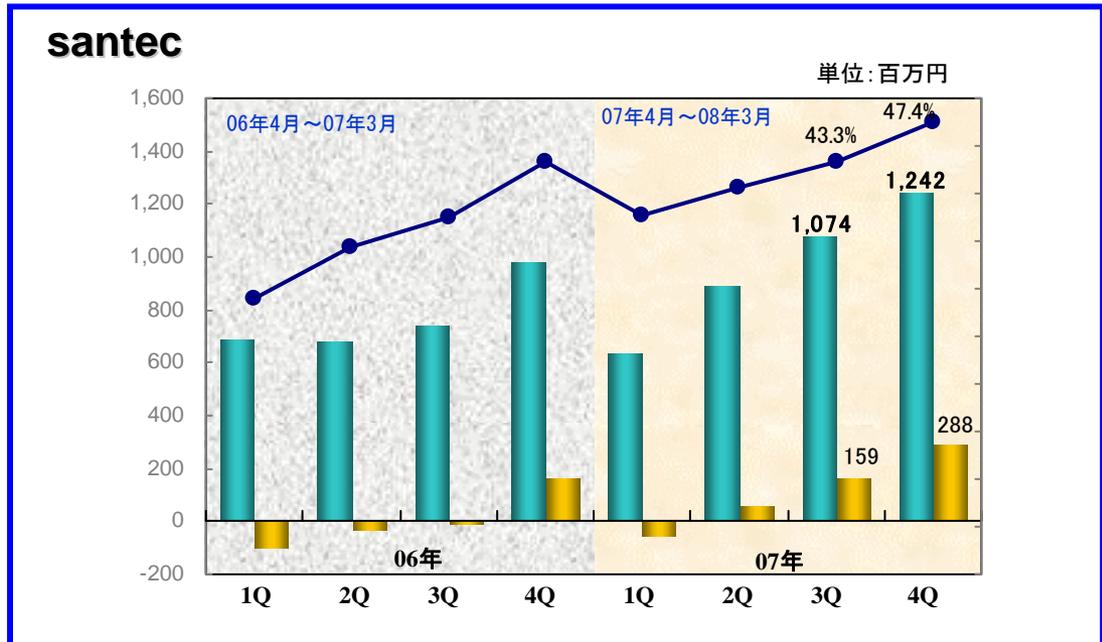
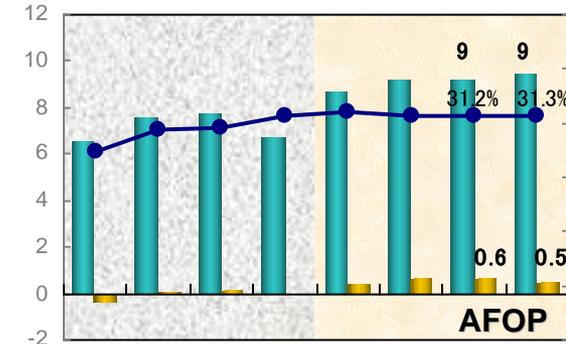
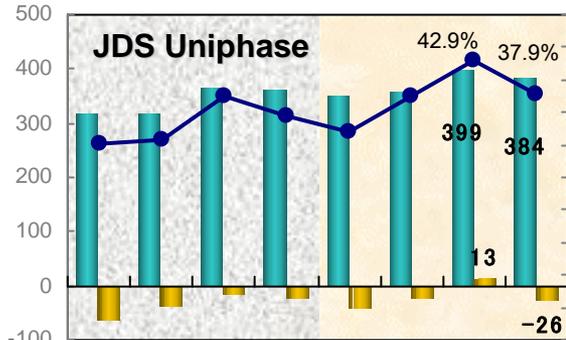
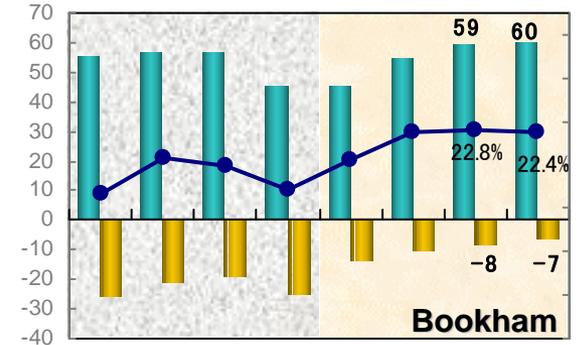
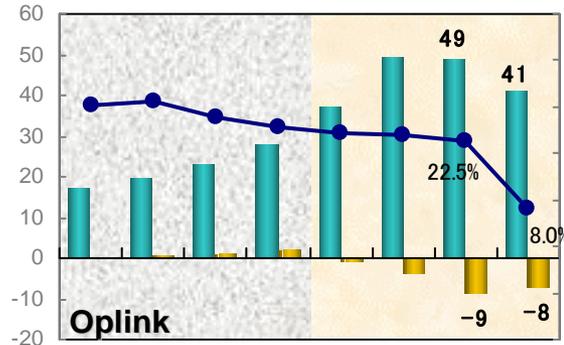
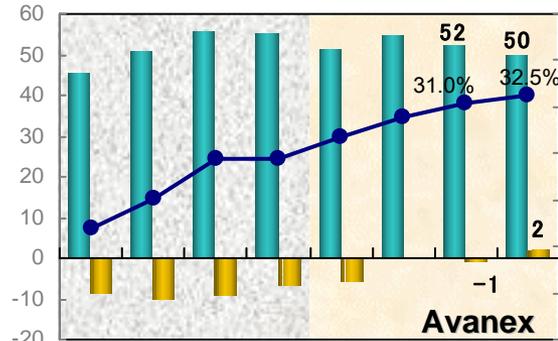


<http://jp.youtube.com/watch?v=gfXr9Nk0goM>
Diginfo様より、日本の技術として当社のOCT技術が紹介されています。分かりやすい映像ですので是非ご覧ください。

ベンチマーク 四半期業績の推移比較

収益体質に差

■ 売上高(Net Revenue) 単位:百万ドル
■ 営業利益(Operating income)
● 粗利率 % (Gross Profit / Net Revenue)



※各社開示資料から弊社作成。
 ※各社とも決算期が異なりますが、便宜上当社グループの決算期にそろえて色分けしています。



2008年度 全社基本方針と経営目標

2008年度 全社基本方針と経営目標

■基本方針

生産性向上と原価低減加速による利益改善

■経営目標

1. 攻めの提案営業への転換

2. 一歩先をいく新製品の創造と拡充

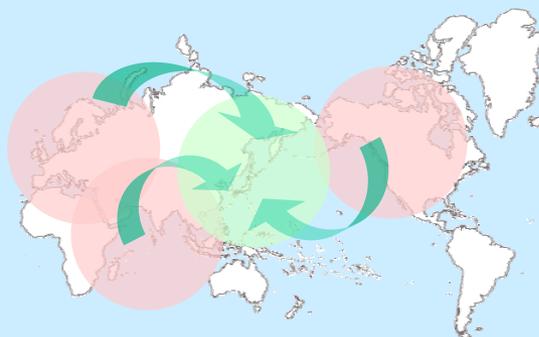
3. 生産能力増強とQDCの更なる強化

4. 内部統制システムの運用と体質の強化

攻めの提案営業への転換

事業環境の変化に対応した営業体制整備

営業体制整備



- 海外営業再編
- 販売企画強化

光源ビジネス拡大



- OEMビジネスの本格推進
- 光源応用新市場の開拓

営業力強化



- 計画的な人員強化
- マーケティング強化
- 宣伝広告強化

一歩先をいく新製品の創造と拡充

高機能・高付加価値
光コンポーネントの追求



- 顧客密着で情報取り
- 技術情報発信
- 次の芽を早期開拓

生産委託の機種拡大と
原価低減推進

- 海外委託の推進で、コストダウン
- 生産の機動性を向上

OEMに耐え得る
光源開発



- 顧客ニーズの充足
 - 性能・品質・コスト
- 他社計測器との連動強化

生産能力増強とQDCの更なる強化

生産能力の増強と
資材調達力強化



競争に勝つ体制

- 納期に応える
 - 調達力&生産力向上
- コスト圧縮
- 海外委託拡充

品質向上による
競争力強化



- 更なる品質向上
- クレーム撲滅

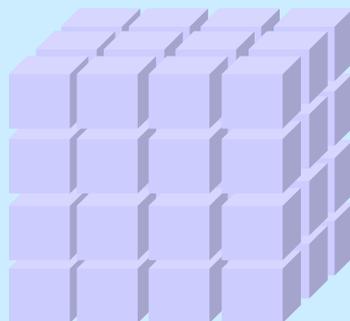
生産改革活動による
ムダ取りの徹底



- 意識を上げる
 - 全体の効率向上

内部統制システムの運用と体質の強化

内部統制システムの
確実な運用



- 内部統制報告制度
 - 07年度で準備完了
- 実運用へ
 - 実効性を重視

財務体質の改善と
ムダ排除

効果的
資金運用

資金繰
強化

在庫管理

計画的な
人材確保と育成



- 業容拡大へ向けて
 - 採用の充実
 - 効果的人員配置
 - 教育体制の見直し



The Photonics Pioneer of Networking

—— ネットワーク時代の光技術先駆者になる ——

本資料に関するお問合せ先

santec株式会社

IRグループ長 今城 星秀

電話 0568-79-3535(代表)

URL: <http://www.santec-net.co.jp/>

〒485-0802

愛知県小牧市大草年上坂5823

フォトニクスバレー 大草キャンパス